北信教育事務所だより

～子どもに発し、子どもに還る　学校づくり・授業づくり～

共にひらく

令和4年 12 月 21 日 第6号

３学期は、一人一人の学びのまとめの時期です。困っている子どもに視点を当て、学級づくり・授業づくりを見直してみませんか。すべての学校、学級において、多様な子どもたちが互いに認め合い、持てる力を十分発揮し、集団の中で安心して学ぶことができる環境をつくりましょう。

すべての子どもが「分かりやすい」「学びやすい」「安心できる」を合言葉に学級づくり、授業づくりをしてみましょう。

授業のユニバーサルデザイン化（通常学級の特別支援教育）
～千曲市立治田小学校の実践～　　４年生算数　単元名：「面積」

合理的配慮はこちら

「合理的配慮実践事例集」

「授業のユニバーサルデザイン化」
集団の中で安心して学ぶ土台づくり

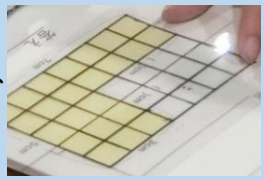
Ａさんの合理的配慮

Ｂさんの合理的配慮

Ｃさんの合理的配慮

③安心して参加できる授業の工夫

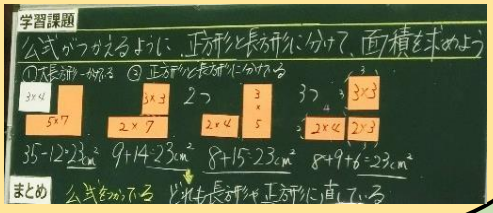
【使用したい人はいつでも誰でも使用してよい支援】
（つまずきを予測した支援）
・タブレットの計算機能
・辺の長さが記載されている学習カード
・補助線を引いた透明シート



②基本的な授業計画

【焦点化の工夫】（ねらい）
・解決したくなる「問い」のある導入
・既習事項の提示と今日やることへの見通し
【視覚化の工夫】（めりはり）
・ICT の活用、実際に図形を切って操作する
【共有化の工夫】（見とどけ）
・ICT で考えを共有する、自己の振り返り

導入場面を工夫することで、「なぜ？」という問題意識や、「やってみたい！」という追究意欲をもつことができます。



①全員が力を発揮し、認め合う学級づくり

【温かく受容的な学級づくり】
・「分からない」と言える学級の雰囲気
・担任の受容的な関わり、認める声がけ
・困った時のサインを決めて、教え合う

＜本号でお伝えする内容＞　　＃…主な読者対象　　頁

☆授業のユニバーサルデザイン化	＃全読者	❶
☆３学期やってみませんか？～「問いのある授業」を目指して～	＃全読者	❷
☆わくわくする授業づくりしませんか？　～第３回日々の授業改善研修～	＃全読者	❻

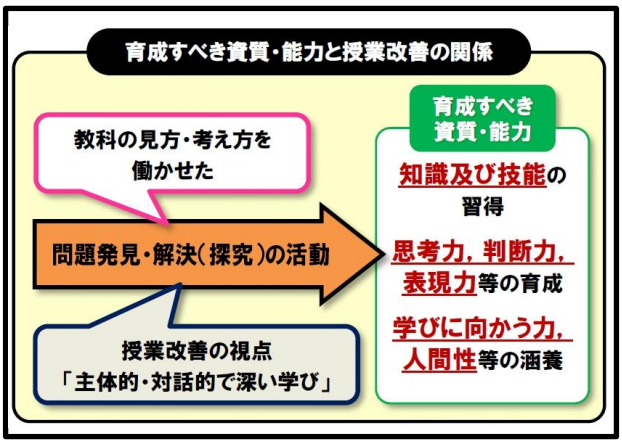
３学期　やってみませんか？

～「問いのある授業」を目指して～

学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」について以下のように述べられています。

> 児童（生徒）が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら，知識を相互に関連付けてより深く理解したり，情報を精査して考えを形成したり，問題を見いだして解決策を考えたり，思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図る。

県教委作成「令和４年度教育課程編成・学習指導の基本」では重点の１番目として「問いのある授業」を掲げ、右図のような学習過程を例示しています。



（「令和4年度教育課程編成・学習指導の基本」より）

子どもにとって「あれ？」「どうして？」「知りたい」「やってみたい」という「問い」や「願い」が、学びをすすめる原動力となります。全ての子どもが資質・能力を身に付けることができるように、その出発点として「問いのある授業」づくりを目指してみませんか？今回はここまでの学校訪問で出会った先生方の実践を参考に、各教科等で「問いのある授業」づくりをどのように考えればよいのか、３学期に行ってみたい単元（題材、議題）のデザイン案として紹介します。

国語科　登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう
～『海の命』（光村図書　６年）～

【働かせる見方・考え方】（例：比較、関連付け）
- 「瀬の主」の目の描写に着目して、父親と太一の生き方を比較する
- 「瀬の主」への対し方に着目して、「本当の一人前の漁師」と「村一番の漁師」とを比較する
- ある日の母の言葉と最終場面の母の姿との違いに着目して、「海の命」が指すものと太一の成長とを関連付ける

育成する資質・能力

第５学年及び第６学年
C 読むこと　エ
人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。

登場人物の生き方について考えたことを伝え合う

【主体的・対話的で深い学びの視点による授業づくり】＜💻…ICT 活用（以下同じ）＞
①同領域（C 読むこと「帰り道」、「やまなし」）の既習事項（人物像をとらえる、作品の世界を捉える）を想起する。
②お話を読んで抱いた個々の問いを基に、単元を通して追究する問いを子供と考える。その追究過程で個々の問いについて解決する見通しをもつ。
③付箋ツールを用いて、根拠にした叙述や自身の考えを整理し、クラウド上で共有できるようにする。💻
④単元を通して追究する問いについての自分の考えと、どのような読み方をしたのかを友と共有する。
友の読み方の良さから、今後の自身の読み方に生かしたいことを整理して、次の学習につなげる。

問いの例

単元を通して追究する問い
太一はどうやって村一番の漁師になったのだろう

追究過程で生まれたり、解決したりする問い
- なぜ太一は泣きそうになったのだろう
- 「瀬の主」は太一にとってどんな存在なのだろう
- 太一にとって「海の命」とは何だろう

社会科

「アフリカ州」（東京書籍「新しい社会　地理」１年）

【働かせる見方・考え方】
・アフリカ州の経済に関わる課題を、アフリカ州の地域的特色や変容の過程から捉える。（地域）
・アフリカ州で見られる経済に関わる課題の要因や影響を、アフリカ州の地域的特色と関連付ける。

育成する資質・能力

アフリカ州で見られる地球的課題の要因や影響を、地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。

アフリカ州で国際的な支援が必要とされる理由を追究する

【主体的・対話的で深い学びの視点による授業づくり】

Point：単元の学習問題の解決に向かうよう、問いを構造化する

①アフリカの自然・文化等の特色を捉え、単元の学習問題を設定する。
②アフリカには、植民地支配の影響を受けてモノカルチャー経済の国が多く、経済の発展が遅れている構造を捉える。
・「ヨーロッパによる植民地支配の影響は、どのようなところに見られるか」
③携帯電話が急速に普及している状況を捉えたうえで学習問題を設定し、資料同士を関連付けながら、アフリカの経済の特色を捉える。
・「なぜアフリカで携帯電話をつくらないのか」
④アフリカの人々の生活の課題について追究し、単元の学習問題をまとめる。
・「アフリカでは経済の発展が遅れていることで、どのような課題がみられるか」
・歴史、産業、生活の観点から追究してきたことを、付箋ツールを用いて関係図にまとめる。

問いの例

アフリカ州では、なぜ国際的な支援が必要とされているのか。

算数・数学科

『調べ方と整理のしかた』（啓林館　４年）
～２つのことがらについて調べる場合の整理のしかたを考えよう～

【働かせる見方・考え方】
アンケートの結果を、整理する観点に着目し、二次元の表や棒グラフに表し、各クラスの傾向を読み取る。

育成する資質・能力

・アンケートの結果を２つの観点から分類・整理する。
・アンケートの結果をどのように整理して表せば結論を出しやすいか考える。

希望献立の作成に向けて
みんなが好きな給食のメニューを調べる

【主体的・対話的で深い学びの視点による授業づくり】
①希望献立作成に向けて、４年生の好きな給食メニューをアンケートで調べるという目的と方法を共有する。

②好きな給食メニューのアンケートの実施に向けて、結果の見通しを立て、アンケートの観点を明確にする。

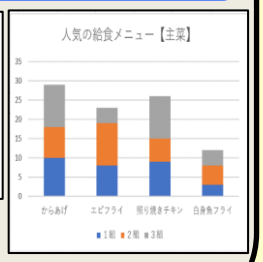
③クラスごとにアンケートを実施し、どのように整理して表せば各クラスの好きな給食メニューの傾向が分かりやすいか考える。

④アンケートの結果を表やグラフに表し、各クラスの傾向を読み取り、読み取ったことについて考察する。

問いの例

・各クラスの希望を大切にしながら、メニューを決めていくためには、結果をどのように表せばよいだろうか。

	からあげ	エビフライ	チキン	白身魚
1組	10	8	9	3
2組	8	11	6	5
3組	11	4	11	4
合計	29	23	26	12



理科　「大地の変化」　（東京書籍「新しい科学１」中学校１年）

【働かせる見方・考え方】
・地層のでき方を捉える、時間的な見方
・火山灰の分布や、地層の広がり方を捉える、空間的な見方
・私たちの暮らす大地が、火山活動、地層の堆積、地殻変動等の複合的な要因によって成立していると捉える、多面的な考え方

私たちの暮らす大地の特徴や成り立ちを調べる

【主体的・対話的で深い学びの視点による授業づくり】
①☆☆中学校そばの露頭や近くの川の岩石、中学校建設時のボーリングコア等を観察し、気付きや疑問から、検証可能な問いをもつ。
②解決のために、鉱物や岩石の特徴、大地の変化に関する基本的な事柄について学習を重ねた上で、再度観察して分析すればよいと見通しをもつ。
③種々の鉱物や岩石を観察し、それぞれの典型的な特徴を写真とメモで端末に記録する。💻
④地球内部の動きと大地の変化の関係性や地層の重なり方の規則性を捉える。
⑤撮りためてきた写真等と比較しながら、☆☆中学校区の大地の特徴を捉え、その成り立ちについて話合い、より妥当な考えを形成する。💻
⑥明らかになってきたことや新たな疑問を共有し、学習を振り返る。

問いの例
私たちの暮らす☆☆中学校区の大地はどのようにできたのだろうか

育成する資質・能力
大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、捉えた地層の特徴から、身近な地域の実態と関連させ、大地の成立過程についてより妥当な考えを見いだして表現する。

生活科　「はしれ　はしれ」（信濃教育出版社　せいかつ・下）

【生かす見方・考え方】
・くり返し対象に関わり、その不思議さや面白さに自覚的に目を向ける。
・願うおもちゃの実現に向けて、比べる・試す・工夫するなどしながら、おもちゃの作り方を考える。

自分の願いをもって動くおもちゃを作り、遊び込み、改良する

【主体的・対話的で深い学びの視点による授業づくり】
①動くおもちゃとの出会いの場を設定し、子どもが身近な素材を使っておもちゃを作り、動かしながら楽しく遊びたいという願いをもつ。
（教師による種まき）
（例）・幼稚園、保育園等での学びを想起する。
・先生の手作りおもちゃをさりげなく教室に置いておく。
②身近な素材を集め、願いの実現に向けておもちゃを作る。
③くり返し試したり比べたりしながら、その様子を動画で記録したり、もっと速く・高く・長く動くおもちゃにするために必要な改良点・方法を考えたりする。（子どもが試したくなる場をつくっておく）💻
④友とおもちゃを紹介し合ったり、教師が適切に声がけ（問いかけ等）したりして、子どもが気づいたことを話して動画に残す。（気づきの質の高まりを促す）💻

願いの例
もっと速く（高く・遠くまで）動くおもちゃにしたいな。

育成する資質・能力
おもちゃ作りを通して、自分自身、対象の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。

「試したくなる」環境の構成

おもちゃが動いた距離を瞬時に確認・比較できる場

英語科

NEW CROWN　English Series 2　Lesson6　Tea from China より

【働かせる見方・考え方】
・日本文化をよく知らない ALT に向けて、聞き手の理解の状況を確認しながら話すなどの配慮をしている。
・話す際に、考えを整理したり話す内容の構成を考えたり、相手に応じた表現を選択したりしている。

育成する資質・能力

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

Lesson Goal
世界に広めたい日本文化を ALT に紹介しよう

【主体的・対話的で深い学びの視点による授業づくり】
① 「世界に広めたい日本文化を、日本文化をよく知らない ALT に向けて紹介する」という目的、場面、状況等を理解する。
② JTE と ALT のやり取りから Lesson Goal への見通しをもつ。

問いの例
私は「手ぬぐい」を紹介しよう。色々な使い方があることを伝えて、ALT に手ぬぐいの良さを知ってもらいたいな。

③ Lesson Goal の場面を想定し紹介に必要な言語材料を身に付ける。
④ 日本文化を ALT に紹介する言語活動を繰り返し行う中で…
・付箋アプリに、紹介に必要なキーワードをメモしたり、図式化したりして思考や情報を整理したり、追加したりする。
・付箋アプリを同時共同編集し、メモが目的に応じた内容になっているか、歴史や事実に触れているかなど、生徒同士互いにコメントを書き、アドバイスし合う。
・中間指導で目的に応じた発表をしている友達の姿から、自分の発表に工夫を加える。
⑤ 実際に ALT に日本文化について伝えたり、ALT からの質問に答えたりする。

特別活動

学級活動「（１）学級や学校における生活づくりへの参画」　全学年

【働かせる見方・考え方】
学級目標を実現するという目的のために、学級で解決するべき課題を見いだし、よりよい人間関係の形成や集団生活の構築に向けた実践に結び付けようとする。

育成する資質・能力

学級における集団活動や自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることを理解し身に付ける。
学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ることができる。
学級における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決に向けて、日常生活の向上を図ろうとする。

学級目標を実現するために、話合い、実践し、振り返る

【主体的・対話的で深い学びの視点による授業づくり】
＜事前の活動＞
①「進級（卒業）を控えた３学期で学級目標を実現するために」という目的を学級全員で確認し、現段階の実現度や課題となっていること等を、ＩＣＴ端末を使って入力する。《自分なりの意思をもって合意形成に臨む》
②集まった意見をもとに、学級会の議題を班長会等で決めだす。

問いの例
議題「一人一人が安心して発言できるクラスにしよう」

＜本　時＞
③事前に入力した内容を表やグラフで学級に示しながら、本議題を扱う目的を共有する。
④付箋機能アプリ等で思考ツールを活用しながら、「出し合う」「くらべ合う」「まとめる」といった過程を経て、解決方法を決定する。
《自主的・実践的な活動につながる合意形成を図る》
＜事後の活動＞
⑤実践を定期的に振り返り、意識化を図る。結果を分析、評価する。
《自分は何ができるかを考え、意思をもって実践する》

わくわくする授業づくりしませんか？

第３回「日々の授業改善研修」 Let’s call it HIBIKEN！

１１月２２日（火）に今年度３回目の臨時的任用研修「日々の授業改善研修」が行われました。会場を分散するなど、感染対策を十分に行ったうえで、参集開催としました。

今年度の研修テーマ　「３つのいいねで『～たい』が泳ぎ回る授業」

- ３つのいいね　　子どものねがい・魅力的なねたとなる教材・授業のねらい
- 「たい」が泳ぎ回る　やってみたい・知りたい・考えたい・確かめたい・伝えたい・・・

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善／資質・能力の育成

意見交換しながらじっくり授業づくり

今回は、教科等毎、少人数グループに分かれ、今年度、先生方が取り組んでこられた実践について発表をお聞きしたり、振り返りから成果と課題を明らかにしたりしました。さらに、今後の授業の構想や教材研究について一緒に考え合いました。３回の研修にご参加いただいた先生からは、「学習指導要領をしっかり読むことが大切だと改めて感じた。子どもたちが単元を通してつけてほしい力を明確にして、授業をつくっていきたいと思う。」という感想を寄せていただきました。他にも多くの先生方に研修で学んだことを日々の授業改善のきっかけにしていただけたことと思います。

また、今年度は養護教諭対象の「学校保健」の講座を前回と今回の２回に増やして開催いたしました。参加いただいた先生からは、「研修の機会が少ないので、とてもありがたいです」との声をいただきました。今後も先生方の声にお応えできるような研修を考えていきます。

- 周りに体育教師がおらず、自分も一年目であるため、他の学校の先生方と意見交換ができるこのような研修がとてもありがたく、勉強させていただけております。**自分では思いつかないような授業内での工夫**が聞けたり、**評価の仕方**を聞けたりしたので、自分の授業に取り入れたいと思います。
- まずは**育成する資質・能力**、**単元終末での目指す子どもの姿**を明確にしてから、授業を構想することを心掛けていきたいと思いました。
- 日々の子どもたちとの関わりの中で、**授業や保健室でこぼす一言**を聞き逃さずに子どもたちの実態を把握していきたいと思いました。

来年度も開催予定です！　お気軽にご参加ください。

【全３回お得パッケージ】
１回目　単元づくりの基本
２回目　具体的な単元・授業構想
３回目　振り返り・実践発表
※１回のみの参加も大歓迎！
※「見通し」「やる気」のお土産付き！

こんな方は是非👍
- 一人教科なので詳しい事を聞きたい。
- 気軽に指導主事と授業づくりをしたい。
- 授業づくりの悩み事を聞いてほしい。
- 頑張った実践を聞いてほしい。
- ICT を活用して授業づくりをしたい。
- 学級づくりにアドバイスがほしい。

参考資料

各教科等における見方・考え方

教科等	見方・考え方
国語 「言葉による見方・考え方」	言葉による見方・考え方を働かせるとは，児童（生徒）が学習の中で，対象と言葉，言葉と言葉との関係を，言葉の意味，働き，使い方等に着目して捉えたり問い直したりして，言葉への自覚を高めること
社会 「社会的な見方・考え方」	○小学校 ・社会的事象の見方・考え方 社会的事象を，位置や空間的な広がり，時期や時間の経過，事象や人々の相互関係などに着目して捉え，比較・分類したり総合したり，地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること ○中学校 ・社会的事象の地理的な見方・考え方（地理的分野） 社会的事象を位置や空間的な広がりに着目して捉え，地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で，人間の営みと関連付けること ・社会的事象の歴史的な見方・考え方（歴史的分野） 社会的事象を時期，推移などに着目して捉え，類似や差違などを明確にしたり，事象同士を因果関係などで関連付けたりすること ・現代社会の見方・考え方（公民的分野） 社会的事象を政治，法，経済などに関わる多様な視点（概念や理論など）に着目して捉え，よりよい社会の構築に向けて，課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること
算数 数学 「数学的な見方・考え方」	○小学校 事象を，数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え，根拠を基に筋道を立てて考え，統合的・発展的に考えること ○中学校 事象を，数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え，論理的，統合的・発展的に考えること
理科 「理科の見方・考え方」	○小学校「見方」 「エネルギー」を柱とする領域では，主として量的・関係的な視点で捉えること 「粒子」を柱とする領域では，主として質的・実体的な視点で捉えること 「生命」を柱とする領域では，主として多様性と共通性の視点で捉えること 「地球」を柱とする領域では，主として時間的・空間的な視点で捉えること 「考え方」 問題解決の過程の中で用いられる，比較，関係付け，条件制御，多面的に考えることなどといった考え方 ○中学校 自然の事物・現象を，質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え，比較したり，関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること
生活 「身近な生活に関わる見方・考え方」	身近な人々，社会及び自然を自分との関わりで捉え，よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとすること
音楽 「音楽的な見方・考え方」	○小学校 音楽に対する感性を働かせ，音や音楽を，音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え，自己のイメージや感情，生活や文化などと関連付けること ○中学校 音楽に対する感性を働かせ，音や音楽を，音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え，自己のイメージや感情，生活や社会，伝統や文化などと関連付けること

教科等	見方・考え方
図画工作 美術 「造形的な見方・考え方」	○小学校 感性や想像力を働かせ，対象や事象を，形や色などの造形的な視点で捉え，自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと ○中学校 表現及び鑑賞の活動を通して，よさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る力である感性や，想像力を働かせ，対象や事象を造形的な視点で捉え，自分としての意味や価値をつくりだすこと
家庭 技術・家庭 （家庭分野） 「生活の営みに係る見方・考え方」	家族や家庭，衣食住，消費や環境などに係る生活事象を，協力・協働，健康・快適・安全，生活文化の継承・創造，持続可能な社会の構築等の視点で捉え，生涯にわたって，自立し共に生きる生活を創造できるよう，よりよい生活を営むために工夫すること
技術・家庭 （技術分野） 「技術の見方・考え方」	生活や社会における事象を，技術との関わりの視点で捉え，社会からの要求，安全性，環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化すること
体育 保健体育 「体育の見方・考え方」	運動やスポーツを，その価値や特性に着目して，楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え，自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること
体育 保健体育 「保健の見方・考え方」	個人及び社会生活における課題や情報を，健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え，疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上，健康を支える環境づくりと関連付けること
外国語活動 外国語 「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」	外国語で表現し伝え合うため，外国語やその背景にある文化を，社会や世界，他者との関わりに着目して捉え，コミュニケーションを行う目的や場面，状況等に応じて，情報を整理しながら考えなどを形成し，再構築すること
特別の教科道徳 「道徳科における見方・考え方」	様々な事象を，道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで（広い視野から）多面的・多角的に捉え，自己の（人間としての）生き方について考えること ※（ ）内は中学校のみ
総合的な学習の時間 「探究的な見方・考え方」	各教科等における見方・考え方を総合的に活用して，広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え，実社会・実生活の課題を探究し，自己の生き方を問い続けるという総合的な学習の時間の特質に応じた見方・考え方のこと
特別活動 「集団や社会の形成者としての見方・考え方」	各教科等の見方・考え方を総合的に働かせながら，自己及び集団や社会の問題を捉え，よりよい人間関係の形成，よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に向けた実践に結び付けること

※小〔中〕学校学習指導要領解説（各教科等）、幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について〔答申〕（道徳のみ）より